

2023年度通常（第2回）理事会議事録

1. 日 時：2023年 9月 2日（土） 11：00 ～ 16：00

2. 場 所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階会議室
オンライン会議システム ZOOM を併用での開催

3 出席状況

出席理事 28名

出席監事 3名

出席オブザーバー 13名

・ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

理事

馬場益弘、富田三和子、安藤淳、大村雅一、望月宣武、鈴木祥子、永井真美、長塚奉司、石川彰、高間信行 以上10名

・ オンライン参加（自宅）

理事

中澤信夫、中村隆夫、宮野幹弘、尾形依子、萩原ゆき、中村和哉、大垣俊朗、船澤泰隆、高橋祐司、中島量敏、目瀬好男、加賀谷賢二、磯部君江、五十川浩司、井上貴支、岩瀬喜貞、安田大助、沼田浩行 以上18名

監事

上野保、紙谷雅子、鈴木保夫 以上3名

オブザーバー

浅田総務委員長、松田財政委員長、平松事業開発委員長、長田レディース委員長、増田ルール委員長、高橋医事・科学委員長、坂口普及指導委員長、宮本オリンピック強化委員長、川合外洋計測委員長、平出外洋安全委員長、坂口外洋通信委員長、坂谷参与、斎藤参与 以上13名

議事の経過及び結果

対面開催と ZOOM 併用でのハイブリット方式で開催した。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わることを確認し、適時的確な意見表明がお互い出来る仕組みになっていることを参加者各位に確認し、議案の審議を下記のとおり開催した。

（定足数の確認）

理事 30名中、出席者 28名により、定款 34条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立した。

（議長による開会宣言）

定款 33条に基づいて、馬場益弘会長が議長となり、2023年度通常（第2回）理事会の開会を宣言し、議事進行を安藤淳専務理事に委任した。

(議事録署名人)

本理事会の議事録署名人として、議長指名により、目瀬好男、井上貴支の両理事が任命された。

【審議事項】

1. 2023年度第1次補正予算(案)について

松田財政委員長から、資料に基づき、2023年度第1次補正予算(案)について説明があった。

公益事業について、公益事業に関する主な補正の内容については、以下のとおり。

管理費・その他について、日建レンタコムカップ関連で収入(協賛金)、支出(委託費)とも同額の7,000千円を追加計上。

2023年度プロジェクト、今期のプロジェクト 施策としての各地のヨットクラブ訪問につき、収入(寄付金)、支出(旅費交通費)とも同額の400千円を追加計上。

レディース委員会について、女性リーダー育成事業関連につき、支出を50千円に増額補正。

ルール委員会について、当初予算で計上していたジャッジ・アンパイヤ活動記録目的のシステム構築に係る業務委託費を、経営企画室にて推進する情報プラットフォーム開発のスコープに含める関係で、支出面を880千円減額補正。

パラセーリング委員会について、予定していたJPC助成金が獲得できなかったことから、パラセーリング普及支援関係事業や障がい者セーラー強化関係事業等の運営方法の見直しやJPSA助成金の追加獲得を第1次補正予算に反映。見直し後不足が見込まれる収入については、国際大会等準備委員会からの繰入収入を2,915千円充当することとする。これらの結果、当初予算比収入面で1,387千円増加の13,519千円、支出面で1,417千円増加の13,549千円に、それぞれ第1次補正を行うと発言があった。

国際大会等準備委員会について、エネオス事業に関し、収入(協賛金)・支出ともに、11,250千円を追加計上。パラセーリング委員会の補正案に伴い、支出(繰入支出)として2,915千円を増額補正。

外洋計測委員会について、IRC証書発行事業に関し、対ポンド円安為替動向を受けて支出を500千円増加補正する一方、証書発行単価の見直しにより収入を200千円増加補正。同様にORC証書発行事業に関し、対ユーロ円安為替動向を受けて支出を27千円増加補正する一方、証書発行単価をIRCと同額にすることで収入を100千円増加補正。その他、国際会議参加に伴う渡航費・滞在費につき支出面で55千円増額補正。結果、公益事業での第1次補正予算案では当初予算比、収入面で20,337千円増加の577,075千円、同じく支出面で22,734千円増加の603,220千円となる。これにより、公益事業収支は26,145千円のマイナス(支出超過)となり、これは当初予算から2,397千円のマイナス幅拡大となる。

投資活動収支、財務活動収支等について、期中の現段階では、特定費用準備金積立取得支出等に関する当初予算からの補正は実施しないこととする。結果、2023年度の第1次補正予算案における当期収支差額は6,095千円のマイナスとなる。収支相償の観点での補正は今回については見送っておりますが、期中の各事業の実施動向を見ながら第2次補正以降の段階で必要に応じて対応することとすると発言があった。

満場一致で承認された。

2. JSAF 定期表彰について

浅田総務委員長から、資料に基づき、JSAF 定期表彰について説明があった。
表彰対象については例年通りで、締切は 11 月 10 日（金）と発言があった。

満場一致承認された。

3. かがしま国体感謝状贈呈について

浅田総務委員長から、資料に基づき、かがしま国体感謝状贈呈について説明があった。
海上自衛隊佐世保警備隊、指定管理者セイカ・ユナイテッドグループ、谷山漁業協同組合、鹿児島県漁業協同組合喜入町支所、学校法人津曲学園鹿児島国際大学に贈呈すると発言があった。

満場一致承認された。

4. 特別加盟団体申請（東医体医療系学生ヨット連盟）について

浅田総務委員長から、資料に基づき、特別加盟団体申請（東医体医療系学生ヨット連盟）について説明があった。

満場一致で承認された。

5. ドーピング裁定委員会委員長の変更について

浅田総務委員長から、資料に基づき、ドーピング裁定委員会委員長の変更について、説明があった。
「棚橋善克」氏から「清水昭」氏に委員長の変更を行うと発言があった。

満場一致で承認された。

6. コンプライアンス委員会／利益相反管理委員会の委員の選任について

浅田総務委員長から、資料に基づき、コンプライアンス委員会／利益相反管理委員会の委員の選任について説明があった。

満場一致で承認された。

7. レディース委員会英文名称変更について

浅田総務委員長から、資料に基づき、レディース委員会英文名称変更について説明があった。
Lady's Committee から Women's Committee に変更すると発言があった。

満場一致で承認された。

8. 支援寄附金（SS協会／岡山県）

浅田総務委員長から、資料に基づき、支援寄附金について説明があった。

SS協会に協会活動費など、岡山県セーリング連盟に障がい者セーリング普及のために支援寄附金の申出があったと発言があった。

満場一致で承認された。

9. Paris2024 代表選考方法の改定について

宮本オリンピック強化委員長から、資料に基づき、Paris2024 代表選考方法の改定について説明があった。

現状各クラスの 2024 年世界選手権を 50%以内の代表要件及び 2 回ある選考大会の初回として位置づけているが、Nacra17・Formula Kite の両クラスについては第 53 回プリンセスソフィア杯（2024）を代替大会とすると発言があった。

満場一致で承認された。

10. 懲戒委員会（経営企画室）について

中田懲戒委員長から、資料に基づき、懲戒委員会（経営企画室）について説明があった。

懲戒処分は行わないが、訓戒を行うのが妥当と結論を出したと発言があった。

満場一致で承認された。

【協議事項】

1. 理事及び監事候補推薦手続規則（理事会内規）改訂（ジェンダー平等）について

望月常務理事から、資料に基づき、理事及び監事候補推薦手続規則（理事会内規）改訂（ジェンダー平等）について説明があった。

外部理事目標割合 25%以上の達成について追加説明があった。

長塚理事から、東北水域としてジェンダー平等について対応していかなければならない認識は持っているが、東北水域の県連としては今後、女性理事をどのように確保していくかが課題である、任期についても不透明な部分があると発言があった。

石川理事から、外洋系に関しては女性が皆無であるが、何とかしなければならない認識は持っているが各地の状況を理解して理事会で発言するには時間が掛かるが外洋系としては、まず女性を増やすことが重要と発言があった。

加賀谷理事から、水域をブロックへと名称の変更をするのか。また、両性から少なくとも 1 名ずつ選出するとあるが、男性 1 名、女性 2 名の 3 名を選出しても良いのかと質問があった。

望月常務理事から、定員があり多くの水域は定員が2名なので、実際は1名ずつとなると説明があった。名称については変更しても良いかもしれないので、今後検討すると説明があった。

磯部理事から、中国水域からの意見をまとめた。中国水域でも地域格差がある。東北水域と同様女子選手が少ない。女子選手の普及に力を入れて欲しいと言う意見があった。今後、普及指導委員会やレディース委員会で普及については進むと思うが、今回の改正は2年伸びたと言う認識で良いかと質問があった。

望月常務理事から、改正自体は2年伸びた訳ではない。定員2名に対して1名ずつと言う義務的な適応は2年延ばし、今回は2年後に男女1名ずつ選出する取り組みをしようと言う説明をいただければ、2名の定員に対して片方のジェンダーに偏っても認めるという事であると説明があった。

中島理事から、中部4県には案内を出し反対はないが、女性が少なく困っている。今回のブロック分けで外洋東海、駿河湾と交流もないので、今後していかなければならないと発言があった。

五十川理事から、メールで各県に意見を求めているが今のところ連絡がない。特別な意見はないと思っているが、個別で連絡し意見を求めた方が良いのではないかと考えている。やはり女性を理事に推薦するのが難しいのではないかと発言があった。

高橋理事から、関東水域でも各県理解はしてくれているが、実際1名ずつになると人材が集まるかと言う不安があると発言があった。

次回理事会で審議事項にすることとなった。

2. 2024-2027年度評議員選任手続きについて

浅田総務委員長から、資料に基づき、2024-2027年度評議員選任手続きについて説明があった。

安藤専務理事から、今回の枠組みは従来通りで行う。4年後の選任に向けて、抜本的な見直し行っていくと発言があった。

大村常務理事から、評議員の水域ごとの人数は、会員比率で表を出している。北海道水域については、端数が出て2名の枠は取ってきているが、北海道・東北水域になった場合はどうなるのは心配されていると思うと発言があった。

安藤専務理事から、北海道水域、東北水域の算出した数字が、切り上げても会員比率にリンクされていない、従前は、北海道2名、東北2名になっていた。今回は一旦同じ数字にしている。会員数も確認したが重大な差は見受けられないが区分の仕方について意見があれば、今後の理事会で意見をい

ただければと思うと発言があった。

次回理事会で審議事項にすることとなった。

3. 運営規則の改訂（加盟団体規程新設）について

安藤専務理事から、運営規則の改訂（加盟団体規程新設）について論点整理が出来ていないため継続審議にしたいと説明があった。

4. 国体委員会の名称変更について

長塚国体副委員長から、国体委員会の名称変更について説明があった。

2024年度から国民体育大会から国民スポーツ大会に名称が変更になるため、国体委員会も合わせて国民スポーツ大会委員会に名称の変更をしたいと発言があった。

次回理事会で審議事項にすることとなった。

5. 加盟団体負担金未収金対応について

松田財政委員長から、資料に基づき、加盟団体負担金未収金対応について説明があった。

回収の努力をしたが回収の見込みのない分について規定に沿って適切に処理しなければならないが現在、規定がないため規定を作成し協議事項で出させていただいたと説明があった。

大村常務理事から、10年前にも同じ問題があり、3年以上加盟団体負担金を支払わない場合は休眠団体とすると理事会決定した。決定後、かなりの未入金団体から入金があったので、今回も同じような対応をしても良いのではないかと発言があった。

【報告事項】

(1) 業務執行理事報告（中川顧問叙勲お祝い会、全国ヨットクラブ、海・その愛事業、体験乗船者など）

富田副会長から中川顧問叙勲お祝い会の決算報告について、資料に基づき報告があった。

大村常務理事から、全国ヨットクラブ回りプロジェクトについて、概要の報告があった。

船澤理事から、各マリーナ、ハーバーで高齢化が進み、子供たちが少なくなっている。このままではヨットをやる子供たちがいなくなり、最終的にヨットをやる人がいなくなってしまうのを防ぐために各ヨットクラブ、ハーバーを馬場会長が先頭に立ち全国のヨットクラブを回ると言う事を始め、北海道から開始したと報告があった。

石川理事から、北海道の視察、情報交換をしたことなどについて報告があった。

馬場会長から、現状について把握出来た、ILCAの大会など活発に行われており、嬉しいこともあつ

たが困っていることについても切実に知ることが出来た。11 月末には、東北水域を回らせていただく。1 箇所ずつ丁寧に回っていきたいと報告があった。

大垣理事から、毎回有意義でしたと言う報告を受けるだけなのか、課題などをまとめたものの報告があるのかと言う質問があった。

安藤専務理事から、ヨットクラブ回りをする中で、課題を抽出して対応策を考えながら、理事会に報告、情報共有していくと説明があった。

鈴木理事から、各地の状況を把握することは素晴らしいことだと思う。平日も稼働できるヨットスクールとかも入れた方が良いのではないかと指摘があった。

安藤専務理事から、今後の各地域を回る際に参考にさせていただくと発言があった。

大村常務理事から、資料に基づき、海・その愛基金海洋環境クリーンプロジェクトについて報告があった。

大村常務理事から、体験乗船者の船舶定員について、資料に基づき報告があった。
今までと変わらない考えで、問題ないと報告があった。

船澤理事から、ENEOS 事業について、資料に基づき報告があった。

望月常務理事から、情報プラットフォーム事業について、資料に基づき報告があった。

(2) 愛知名古屋アジア大会に係るスポーツコーディネーター、スポーツマネジャー及びテクニカルオペレーションマネジャーの人選について

安藤専務理事から、愛知名古屋アジア大会に係るスポーツコーディネーター、スポーツマネジャー及びテクニカルオペレーションマネジャーの人選について、資料に基づき報告があった。

(3) 総務委員会報告 (2023 年度コンプライアンス研修実施、2023 ガバナンスコード自己説明公表内容)

浅田総務委員長から、2023 年度コンプライアンス研修実施、2023 ガバナンスコード自己説明公表内容について、資料に基づき報告があった。

(4) オリンピック強化委員会報告

宮本オリンピック強化委員長からオリンピック強化委員会報告が、資料に基づき報告があった。

セーリングワールドチャンピオンシップで 470 級は 1、3 位のダブル入賞し、国枠を獲得した。パリの代表選手は 2 月の 470 世界選手権、4 月のラストチャンスレガッタの成績で決定する。その他のクラスについてはアジア大会並びにアジアセーリングワールドチャンピオンシップ以降に持ち越しとな

った。HOPE、アジア選手権大会など今後の大会についてなど報告があった。

(5) パラセーリング委員会報告

高間パラセーリング委員長から、パラセーリング委員会報告について、資料に基づき報告があった。
オランダハーグで行われたパラワールドで丹羽選手が銀メダルを取り過去最高の結果になった。
山田佳明先生が International Classifier の試験に合格したと報告があった。

(6) レースマネジメント委員会報告

磯部レースマネジメント委員から、レースマネジメント委員会報告について、資料に基づき報告があった。

(7) 環境委員会報告

永井環境委員から、環境委員会報告について、資料に基づき報告があった。
環境委員会で開発していた、SDGs アプリが完成した。JSAF を上げて発信していきたいと思っている。全国大会を中心に使っていただく予定、皆さまご協力を宜しくお願い致しますと報告があった。

(8) レディース委員会報告

長田レディース委員長から、レディース委員会報告について、資料に基づき報告があった。
6月に行われたオリンピックウィークでのチャイルドルームについて報告があった。
永井委員から 11月に女性向けのレースマネジメントクリニックについて報告があった。

(9) e-sailing 委員会報告

尾形 e-sailing 委員長から e-sailing 委員会報告について、資料に基づき報告があった。
オリンピック e スポーツシリーズ 2023 IN シンガポール大会について日本人選手 2 名が参加し古川悠航選手が 6 位、小暮俊貴選手が 7 位と健闘したと報告があった。
e-sailing 全日本 2023 (Japan Cup) では、高校生の宮前佳月選手が優勝したと報告があった。

大垣理事から、JVRIC を JSAF の加盟団体にしていくことは考えているのかと質問があった。

尾形委員長から、正式に加盟団体になっていただくのは難しいのではないかと思います、皆さんの意向を聞いてやっていければ良いのではないかと思いますとの発言があった。

(10) 外洋常任委員会報告 (パールレース他)

大村常務理事から、外洋常任委員会報告の概要について、資料に基づき報告があった。

坂谷参与からパールレース報告について、資料に基づき報告があった。

参加定数は IRC クラス 46 艇、ダブルハンド 8 艇でパーティーも開催し完全復活で盛大に行うことが出来たと報告があった。

坂口通信委員長から、JSAFでは無線局4局を管理しているが、総務省から4月に無線局の外資規制を実行するための法律改正が行われ、JSAFの無線局も外資規制の無線局には入ってしまった。理事の皆さまの国籍を総務省に提出する必要が発生してしまったので、国籍の証明できる物の提出をお願い致しますと報告があった。

(11) インターハイ報告

中村理事から、インターハイ報告について、資料に基づき報告があった。

(12) 2023年度メンバー登録数（7月31日現在）

寺澤事務局長から、2023年度メンバー登録数について資料に基づき、報告があった。

2023年度7月31日現在7,785名の登録となっている。外洋艇は674艇の登録いただいていると報告があった。

(13) 2023年度定時評議員会議事録（案）

寺澤事務局長から、2023年度定時評議員会議事録（案）について報告があった。

(14) 2023年度通常第1回理事会議事録（案）

寺澤事務局長から、2023年度通常第1回理事会議事録（案）について報告があった。

(15) その他

2023 横浜マフローティングショー

意見書 鈴木祥子

鈴木理事から、意見書について報告があった。

以上をもって、オンライン会議システムZOOMを使用し終始異常なく、議事全てを終了したので、議長は16時00分に閉会を宣した。

2023年度通常（第2回）理事会は、上記の通り同意ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名・捺印する。

2023年 9月 2日

議 長 会 長 馬 場 益 弘

議事録署名人 理 事 目 瀬 好 男

議事録署名人 理 事 井 上 貴 支

副 会 長 中 澤 信 夫

副 会 長 富 田 三和子

副 会 長 中 村 隆 夫

専務理事 安 藤 淳

常務理事 大 村 雅 一

常務理事 望 月 宣 武

監 事 上 野 保

監 事 紙 谷 雅 子

監 事 鈴 木 保 夫